

競技要項の変更について

はじめに

前回公式練習に参加したチームはご存じの通り現在、スラロームの出艇場所で使用予定の晶子エントリーの右岸エディにて巨大な流木が確認されておりスラロームの出艇が大変難しくなっております。

また、右岸エディ自体もほとんどエディではなくなっており、5/21時点での湯原テレメーターで8.0近くが観測されているため、大会本番はさらなる地形変化も予想されます。

よって、選手の安全を確保するために競技要項の一部を変更させていただきます。

選手の皆様には距離の長いポータージとなりご不便をおかけしますが、ご理解願います。

オフィシャルとしても当日または前日に降下または入念なスカウティングを行い、キャプテンミーティングにて危険箇所などについては報告する予定ですが、各競技前には各チームにて入念なスカウティングを必ず行ってください。 よろしく願います。

※本競技要項も川の現状を確認したのち変更になる場合がございます。

・スラロームについて

- ① スタートの計測方法を手計測から光電管による光電管計測に変更します。
ただし、ゴールは従来通り手計測にて行います。
- ② 出艇位置を晶子エントリーの右岸エディから H2H 出艇場所(親水公園上流右岸エディ)に変更します。
※資料1 参照
ただし、ゴール地点に大きな変更はありません。
- ③ 出艇場所は H2H 出艇場所(親水公園上流右岸エディ)となりますが、光電管設置位置はスプリントゴールと同位置になります。つまり、計測開始は晶子エントリー付近となります。※おおよその光電管ラインは資料1を参照
- ④ スタート光電管計測に伴い、レディコール後のパドル入水ペナルティはとりません。

・H2Hについて

- ① 水量規定を以下のように定めます。(湯原テレメーター基準)
 - ・～3. 7の場合・・・新ルールによるH2H
 - ・3. 7～3. 8の場合・・・旧ルールによるH2H
ただし、降下区間は紅葉橋～笹笛橋上流とする。
 - ・3. 8以上の場合・・・旧ルールによるH2H
ただし、降下区間はスプリント区間と同等とする。
- ② スタートは第二回公式練習で使用した親水公園上流の右岸エディ、左岸エディとします。※詳細は資料2を参照
- ③ スタート場所は上記の位置としますが、ボート出艇場所は紅葉橋とします。
紅葉橋にて右岸か左岸が決定した後、スタッフの指示に従い、スタート地点のエディまで降下してください。

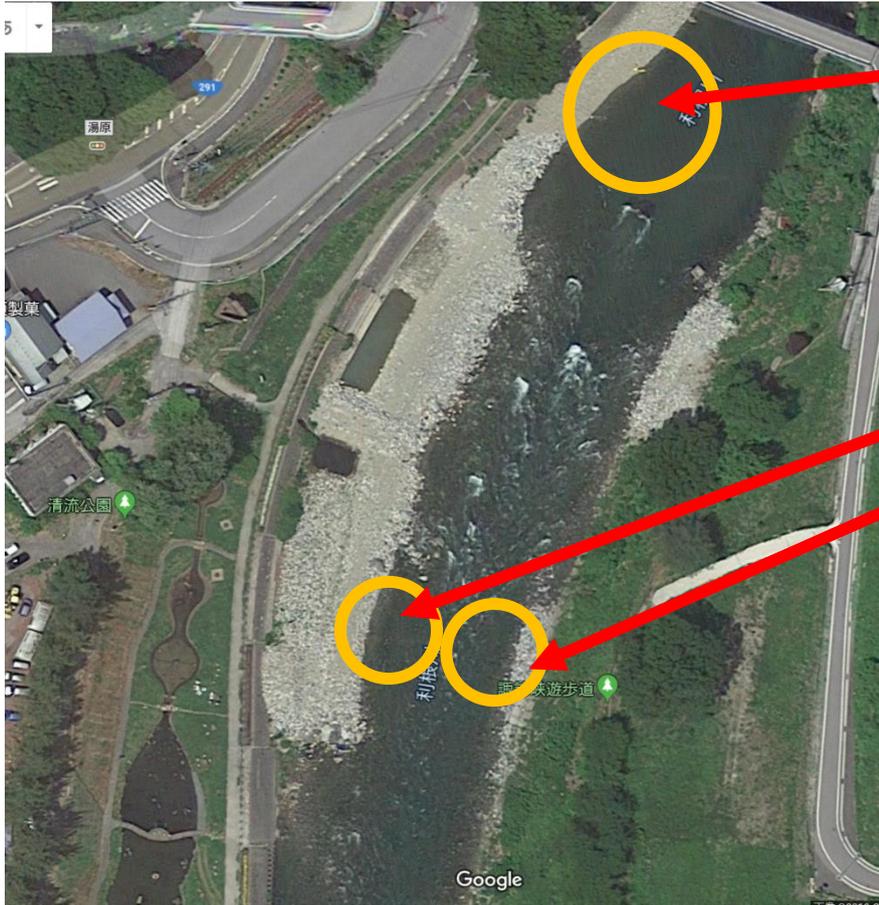


SL 出艇場所

光電管ライン

※資料1

令和1年5月21日(火)



出艇位置

H2H スタート

※資料2